



# 道徳だより

# 11



10/6 (水)

## 「わたしだって」の授業から

「相手の立場になって考え、相手のことを受け入れようとする心情を育てる」というねらいから授業を行いました。車の中で学校での出来事を思い出しているけい子に自我関与することで、相手の立場になって考え、相手のことを受け入れることの大切さについてじっくりと考えていました。

子ども達のワークシートには、「友だちの失敗を許したい」「相手の気持ちを考えていきたい」という気持ちがたくさん書かれていました。これからも相手の立場になって考え、受け入れようとする心を大切にしていきたいと思います。

10/6(水) 20回 わたしだって

自分と相手の意見や考えが合わなかったことはありますか？

ある→21人 ない→5人

- 遊ぶ内ようを決めるとき
- 当番の仕事をするとき
- ボールのかたづけをするとき
- グループ話し合いをするとき
- 遊具を使うとき

しほいさゆるしてあげよう  
お友だちの意見もきく

けい子

だまたままのけい子

- たくさん「ごめん」  
でも、冬会は元にもどらない
- ていねいにかいたから、かない
- わざとではないからゆるそう
- せうかい上げてたのに、わざとではなくてもゆるせない

けい子にあやまたお姉さん

- バはひいてあげた
- 相手のことを失い考えた
- せうまわりと見てあげよう

車の中で、けい子はどんなことを考えていたのでしょうか。

- 悪いことしたな
- しほいさゆるしてあげよう
- しほいした気持ちがわかる
- お相手思っ気持ちかたりなかつた
- きこ友だちもかない気持ちだつたろうな

### 子ども達のふり返りより…

友だちを大切にしていきて、相手の気持ちを考えていきていきたいと思います。

わざとではないことと知り、友だちゆうせんにしてあげたいと思います。

人のしほいさをきちんとみとめることが、もっと出来るようになりたいです。人間はしほいをするのは当たりまえなんだなと思いました。

人間は1回はしほいするからしほいした時はゆるしてあげようと思った。ゆるせない時は心の中で思っければいい。



GR 10/6